

第2学年3組 生活科学学習指導案

1、単元名 「町たんけん2」 ～ちょっとぼうけん遠くの町へ～

2、単元目標

自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、それらに愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動できるようにする。

乗り物を利用して、遠くの町に出かけることを通して、公共物や公共施設の利用のきまりやマナーがわかるとともに、そこでの施設や人に親しみをもってかかわり、自分の生活を広げていくことができるようにする。

3、ひびき合う子ども達を目指すための指導の工夫

生活科ではこれまで、「町たんけん1」として学区内の町探検を行った。自分の探検したい方面を選び、グループを作って探検をした。探検前は、何に注目して探検するのかをグループ内で話し合い、探検時には、見たものについて観察することができた。探検して発見したことについて、新聞やクイズを作って発表会を行った。探検のための準備として、地図を見て通る道を選び、それに従って歩く経験をしたが、地図通りにはいかず、地図の工夫に課題が残った。真面目で好奇心の旺盛な児童のため、より目的意識をしっかりと持たせ、活動を有意義に進めていきたい。また、探検後の発表会では、学区内のこととはいえ、知らないことが多くあったようで、新たな発見をした様子がうかがえた。今回の「町たんけん2」では、公共物や公共施設を扱うねらいのもとに、見たこと感じたことを交流していく。

<町たんけん事前アンケートの結果>

	はい	いいえ	どちらともいえない
自分で切符を買ったことがある。	8	20	
自分でバスの代金を払ったことがある。	8	20	
電車の乗り方を知っている。	20	6	2
バスの乗り降りの仕方を知っている。	25	3	

学区には小田原駅があり、JR・小田急線・箱根登山線・大雄山線・新幹線・多数の路線バスが通っている。交通の便がよい地域の特性を活かし、公共の乗り物を利用した町探検を進めていく。アンケート結果より、身近に利用できる交通機関の存在を考えると、乗り方は知っているが、実際に自分で利用することは極端に少ないことがうかがえる。今回の町探検の計画、実行を通して、探検や乗り物に乗ることが楽しいというだけでなく、友だちの考えを知ることや自分の考えを表現することで、みんなで活動するよさを感じさせたい。また、自分の生活をはじめ、まわりの人の生活やものの在り方まで思いを膨らませていきたい。

(1) 単元と指導

単元について

本単元は、学習指導要領の内容(4)「公共物や公共施設の利用～公共物や公共施設はみんなのものであることや、それを支えている人々がいることが分かり、それらを大切に、安全に気をつけて正しく利用することができるようにする」に基づいて設定した。

「町たんけん1」で学区の探検を行った。本単元では、視野を広げ、小田原市内の公共物、公共施設を扱っていく。児童の行きたい場所をもとに探検グループを作り、コースごとにまちの人々、場所及び自然について発見したり、気付いたりしたことを友だちに紹介していく。本校付近には、バス停、駅があり、便がいい。公共施設も学区内に充実している。普段は家族の自家用車での移動が多いため、町の様子をじっくりみることが少ない。児童のこれまでの経験から、交通機関を利用して楽しかったことを想起させ、乗り物に乗って遠くに行きたいという思いを引き出したい。

「ひびき合い」について

生活科では、特に子どもの「思い」や「願い」を大切にしながら、具体的な活動や直接体験を中心とした学習活動を工夫していき、子どもが主体的に学習や生活に取り組めるようにしていきたいと考えた。そのために、生活科の学習における具体的な活動や直接体験の条件を整理した。

子どもの生活と直接つながりのあるもの。

子どもが興味を持ち、意欲的な取り組みが期待できるもの。

子どもの能力に適したもの。

子どもが五感を通して活動できるもの。

子どもが自分とのかかわりを見つけていけるもの。

子ども自身の手で連続・発展させていけるもの。

以上6つの条件を考慮しながら、本単元では、指導計画にあるような具体的な活動や直接体験となる活動を取り入れることにした。また、グループ活動を中心に、子どもたち自身が計画を練っていく場面で、または、学級全体での話し合いの場面でひびき合いが期待される。

2年では、関わり合うことで、「発見」、「驚き」、「共感」を得、さらに自分の思いや考えを重ね、「表現」しながら高まることを「ひびき合い」ととらえる。

単元の評価規準

ア 生活への関心・意欲・態度	イ 活動や体験についての 思考・表現	ウ 身近な環境や自分についての 気付き
乗り物など公共物や公共施設に関心をもち、安全に気をつけて正しく利用しようとしたり、さまざまな場所や人々に親しみをもってかかわり自分の生活を広げたりしようとしている。	公共物や公共施設の利用の仕方やマナーの大切さがわかり、体験したことを工夫して表現することができる。	公共物や公共施設の利便性、そこにかかわる人々や実際に利用することができた自分のよさなどに気づいている。

	学習の流れ (は時数)・予想される児童の反応	活動の支援、評価の観点・評価方法
つかむ	<p>遠くへみんなで出かけよう</p> <p>町探検する場所を決めよう 前の探検と違った所へ行ってみたいな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の公共施設について知っていることを交流する。 ・そこで働いている人に話を聞いてみたい。 <p>自然とふれあいたいから に行きたいな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行き先をいくつか絞る。 ・行き先を決める。 ・グループ作り 	<p>【関】たんけんをすることに興味をもち、進んで計画を立てたり、準備をしたりしている。(行動・発言)</p> <p>【思】実際に行ったことのある場所や体験を思い出し、紹介することができる。(発言・ワークシート)</p> <p>【気】よく知らない場所や乗り物の乗り方があることに気付いている。(ワークシート)</p> <p>市内の公共物、公共施設に目が向けられるよう、いくつかの資料を提供する。</p> <p>行き先を3, 4つ、グループは7つくらいにする。</p>
深める	<p>グループで計画して出かけよう</p> <p>たんけん会社をつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探検に行くために必要なことを話し合う。 <p>どうやっていけばいいかわからないな。 何を調べたらいいのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行き先の資料集め・取材の方法・地図・目的 ・行き先・行き方・かかる時間・道程・持ち物 ・料金・ダイヤ・マナー・まとめ方・乗り物計画書など・・・ ・探検の準備を進める中で困ったことやわからないことを出し合う。(本時)(2/6) <p>早く探検に行きたいな。 準備は大丈夫かな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことをはっきりさせる 	<p>【関】探検に必要な準備を進んでしようとしている。(資料・行動)</p> <p>市内の地図を提示し、学校と目的地へのイメージを持たせる。</p> <p>わからないことや聞きたいことを、いつでも誰でも確認できるスペースを設ける。</p> <p>【思】わからないことを聞いたり、施設などを調べたりしている。(ワークシート・行動)</p> <p>【思】たんけんに必要なことを考え、計画を立てたり、準備したりすることができる。(行動・ワークシート)</p> <p>【気】公共物や公共施設を利用するときは、ルールやマナーを守らなければならないことに気付く。(行動・ワークシート)</p>
	<p>たんけんしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに探検をする。 ・発見したことをまとめる。 	<p>探検ボランティアに協力をいただく。</p> <p>【関】公共の施設を、関心をもって利用している。(行動)</p> <p>【思】周りの人のことを考えて行動できる。(行動)</p> <p>【気】公共の施設はたくさんの方が利用していることに気付く。(行動・ワークシート)</p>
まとめる	<p>町のことを伝えよう</p> <p>発表会を開こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の準備をする。 ・発表会を開く。 ・お礼のお手紙を書く。 	<p>自由な発想で発表できるよう、方法を紹介する。</p> <p>【関】たんけんしてわかったことを伝えるために準備しようとしている。(行動・ワークシート)</p> <p>【思】たんけんしてわかったことをわかりやすく発表することができる。(発表)</p> <p>【気】みんなが利用するものはルールやマナーを守ること気付いている。(発表・資料)</p>

5、本時について (5 / 17 時間)

(1) 本時目標

町探検で行く目的地までの乗り物計画書を作成し、探検への意欲を高めるとともに、計画を練ることができる。

(2) 本時展開

学習活動	指導上の留意点・【評価】
<p>1、本時の活動を知る。</p> <p style="text-align: center;">たんけんの計画を立てましょう。</p> <p>探検するとき不安なことや心配なことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・乗換えがうまくいか心配です。・切符をどうやって買えばいいかわかりません。・バスはどうやってお金を払うのかな。・乗り過ごしたらどうしよう。・迷子になるか心配です。 <p>2、グループごとにたんけんの計画を立てる。</p> <p>グループに分かれて、探検計画書を作りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・切符の買い方を調べておこうよ。・駅からバスに乗っていこう。・バスの乗り方や降り方は知っている人に聞こうよ。・電車で 駅まで行くといいよね。・電車の時刻も調べないとね。・バスは、渋滞で時間がかかるかもしれないね。・乗り過ごしたときは、どうするか決めておこう。・乗っている間は静かにしないといけないね。 <p>3、グループで話し合っ、決まったことや困っていることなどを発表する。</p> <p>話し合っ決まったことや、困っていることを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・乗ったことがないから、バスで行くことにしました。・バスでは歩くのが長くなるので電車にしました。・乗り過ごしたらどうするかまだ決まっていません。・時刻表が読めません。分かる人教えてください。 <p>4、ふりかえりをする。</p>	<p>・行き先を確認する。</p> <p>・線路・路線・駅名・バス停名を記入した市内図を掲示する。</p> <p>・黒板やオープンスペースに資料を掲示し、いつでも調べられるよう環境を整えておく。</p> <p>・グループを回り、困っていることを解決していけるよう、声かけをする。</p> <p>・決まったことを計画書に書いていく。</p> <p>【思】探検に必要なことを考え、グループで計画をたてることができる。</p> <p>【気】みんなが利用するものは、ルールやマナーを守らなければならないことに気付くことができる。</p> <p>・グループで解決できなかったことについて、解決策があれば出し合う。</p> <p>・これまでで決定したことも発表させる。</p> <p>・次にグループですることを意識させて、たんけん日記書く。</p>

当日案

本時目標

町探検で行く目的地までの乗り物計画書を作成し、探検への意欲を高めるとともに、計画を練ることができる。

学習活動	指導上の留意点・【評価】
<p>1、本時の活動を知る。 駅探検をして調べられたことを確認する。 ・電車の時刻・キップの代金 ・バスの代金・どの乗り場から乗ればいいのか</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> たんけんの計画をたてよう。 </div> <p>「行き方と帰り方を変える」ということについて考えを出し合う。 ・まぎらわしい。 ・その方が、時間がかからないかも。 ・いや、時間が余計にかかるよ。 ・いろんな乗り物に乗れていい。 ・お金がかかる。</p> <p>2、グループごとにたんけんの計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> グループに分かれて、目的地までの行き方を話し合っ、計画書に書こう。 </div> <p>・バスでしか行けないね。 ・帰りはバスの方が便利そうだね。 ・こうした方が、時間がかからないね。 ・バスも電車もどっちも体験したいな。</p> <p>3、グループで話し合っ、決まったことや困っていることなどを発表する。 4、ふりかえりをする。</p>	<p>・それぞれのグループの行き先を確認する。</p> <p>・小田原駅、三の丸学区は電車やバスを利用しやすい地域であることにふれる。 ・線路・路線・駅名・バス停名を記入した市内図を掲示する。</p> <p>・黒板やオープンスペースに資料を掲示し、いつでも調べられるよう環境を整えておく。 ・グループを回り、決めたことと困っていることを出しておくよう声かけをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 【思】探検に必要なことを考え、グループで計画をたてることができる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 【気】バスや電車はみんなのものであることに気付くことができる。 </div> <p>・グループで解決できなかったことについて、解決策があれば出し合う。 ・これまでで決定したことも発表させる。 ・次にグループであることを意識させて、たんけん日記を書く。</p>

本時の評価基準及び支援

	A	B	C（支援）
関心・意欲・態度	探検することに興味を持ち、自分なりの考えを抱きながら進んで計画を立てたり、準備をしたりしている。	探検することに興味を持ち、進んで計画を立てたり、準備をしたりしている。	話し合いの中で、自分の興味や関心につながるものをいっしょにさがす。
思考・表現	探検に必要なことを調べ、公共物や公共の施設を利用するときのルールやマナー、困ったことが起きたときの解決法を考えて計画したり、準備したりすることができる。	探検に必要なことを調べ、友だちと計画を立てたり、準備したりすることができる。	安全に楽しく行くためには、計画や準備が必要なことに気づかせる。ルールやマナーに着目させる。

6, 実践を終えて

生活科では2回目の探検となる本単元。前回の探検同様、探検してみたいいくつかの方面から自分の行きたいと思う場所を選び、目的地が同じ子でグループを作った。グループで計画を立て、どこに、どうやって、何をしに行くかを話し合い、計画してきた。前回の探検は、学区内を徒歩で探検した。今回は、小田原市内にまで視野を広げ、公共の乗り物を利用して公共施設へ探検することとなった。これまで家族で行ったことのある場所について「こんなところだよ。」と全体に話をするところから目的地のイメージを広げた。

乗り物に乗ることについては、時刻や場所を知っておかなければいけないという考えから、グループ決定後、計画段階で小田原駅へ下見に出かけた。実際に確かめることで、子どもたちは主体的に計画を進めていくことができた。2年生の子どもたちにとって時刻表や地図を読み取ることは難しいことであり、資料を集めるより人に聞いて調べることが多かった。乗り物についての情報の他にも、目的地の資料も収集する姿もあった。

子どもたちが関わり合うことで、「発見」、「驚き」、「共感」を得、さらに自分の思いや考えを重ね、「表現」しながら高まることを「ひびき合い」ととらえてきた。各グループで目的地が異なるため、計画の話し合いはグループ単位で行ってきた。全体の場では、最低限これだけは決めておかななくてはならないことや、グループで心配なことや困っていることを交流することとなった。自分の目的地を決定する段階では、友だちの話を受けて、目的地を決定していく姿が見られた。グループで計画の段階で、より簡単に、より安く、より早く、よりたくさん乗り物を利用するなど、探検時のポイントを与えることで、よりひびき合いが見られたのではないかと考える。

まとめの段階では、探検で発見したことや知らせたいことを自由な発想でまとめた。乗り物に乗って探検したことを紙芝居にまとめたり、「こんな遊具があったよ」と模型を作ったり表現方法は様々であった。進んでまとめようとしたり、他のグループのまとめ方を活かそうとしたりする姿も見られた。課題としては、探検の目的意識をはっきり持たせることで、グループでまとめていく段階がより主体的になると考える。